

沖縄市応急手当講習会実施要綱

1. 目的

このガイドラインは、新型コロナウイルス感染症を踏まえ受講者に対して、感染症予防を持続的に行うための「新しい生活様式」の徹底により一人一人が対策を行うことを促し、ウイルスが持ち込まれることを防ぐとともに、万一に備え集団内で二次感染が起きるリスクを最小限とすることを目的とする。

2. 時期

新型コロナウイルス感染症の動向を見据えながら、継続期間を判断する。

3. 受講者の持ち物

- ① 原則マスクを着用する。
- ② 夏場は、水筒等をできる限り持参する。
- ③ 軽装（動きやすい服装）とする。
- ④ その他（タオル、筆記用具等）

4. 受講要件

- ① 発熱の症状がない方（体温37.4度以下）
- ② 風邪の症状がない方
- ③ 過去7日間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等がない方
- ④ 過去7日間以内に感染拡大の地域や国への渡航歴がない方
- ⑤ 過去7日間以内に濃厚接触者（下記参照）として保健所より判断されていない方
- ⑥ 過去7日間以内に濃厚接触者（下記参照）との接触がない方

●濃厚接触者とは？

患者の感染可能期間内（※）に患者と接触した者のうち、次の1～4に該当する方を言います。

※感染可能期間内：発症日の2日前から、診断後に隔離開始されるまでの間

- 1.患者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった方
- 2.手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、マスクなどの必要な感染予防策なしで、「患者」と15分以上の接触があった方（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）
- 3.適切な感染防護無しに患者を診察、看護若しくは介護していた方
- 4.患者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い方
（国立感染症研究所「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領（2020年5月29日暫定版）より）

5. 事前準備及び当日の感染対策

- ① 体温測定
- ② 体調チェック 健康状態申告書（様式1）の提出
- ③ 消毒 受付に設置したアルコール手指消毒液等による消毒を徹底する。
- ④ 名簿作成の協力依頼 カードの発行及び参加者で感染者が出た場合の対応に備え、連絡先（電話番号等）を把握します。ただし、収集した個人情報は、目的達成のために利用し、法令に基づく場合または本人の同意がある場合を除き、他に利用することはありません。また、沖縄市個人情報保護条例及び同施行規則に基づき取り扱います。
- ⑤ 施設内では、各自、人と人の距離は最低1 m（できれば2 m）以上確保する。
- ⑥ 施設内では大きな声を出さない。
（胸骨圧迫のテンポは、メトロノーム等で行う）
- ⑦ 換気の悪い密閉空間にしないよう、常に換気(2か所以上の開口部設定)をした状態を維持する。
※雨天等で難しい場合は、1時間に2回以上を目安に換気を行う。
- ⑩ 人形1体に対し、原則、受講生は1名とする。
- ⑪ コロナウイルス感染症の状況によっては、講習会を中止、規模縮小等を検討する。
- ⑫ 原則、講習会の出向は行わない。
※3密（密閉、密集、密接）及び衛生面を維持するため。